

イベント情報

緊急開催！ プロトリオス主催 事故車見積りフォーラム2026



開催の背景と目的：明らかになった「工数1.5倍」の乖離

2026年6月に国土交通省より公表された「自動車整備業の人材確保に必要な賃上げ等調査事業」の結果において、業界に衝撃を与える事実が明らかになりました。

日本市場で広く使用されている「自研指数（JKC指数）」と、欧州をはじめ世界的に活用されている「CAB工数」を比較したところ、事故を想定した複数工程の工数において、CAB工数がJKC指数の約1.5倍に達するという実態が浮き彫りになったのです。

この約1.5倍という工数の乖離は、钣金塗装工場の収益に甚大な影響を及ぼしています。適正な作業時間の定義と、それに基づく精緻な見積りの実現は、現在の業界が抱える最重要課題である「人材確保」や「従業員の賃上げ」に直結する死活問題です。

本フォーラムは、この衝撃的な調査結果を業界全体で共有・議論し、持続可能な業界の発展と未来へのアップデートを目指すべく開催されます。ぜひご視聴ください！（以上 プロトリオスHPより転載）

○イベント概要

開催日時：2026年9月18日（金）13:00～16:00

開催場所：品川プリンスホテル（ただし会場参加はご招待客のみとなります）

●**オンライン同時配信は一般参加可能**です。事前のお申込とオンラインチケットの購入が必要です。購入はプロトリオスのHP専用フォームにて、クレジットカード決済のみとなりますのでご注意ください。

オンライン参加費1名につき1,100円（税込） 一次締め切り：2026年9月4日（金）

主催：株式会社プロトリオス 後援：国土交通省

第1部：講演「これからの事故車見積りについて」

講師：株式会社プロトリオス・石芳賢和

指数と工数の違いを踏まえ今後求められる見積りの具体的な考え方と実務への落とし込みを解説します。

第2部：パネルディスカッション「業界の持続可能な未来に向けて」

テーマ1：適切な「標準作業時間」を考える テーマ2：適切な「工賃単価」を考える

テーマ3：指数と工賃単価の上昇を、技術者賃金の上昇及び人材確保につなげていくために

パネリスト（予定）：国会議員、国土交通省、車体業界有識者、損保業界有識者ほか

ファシリテーター：プロトリオス・樋口 祥三郎（月刊ボデーショップレポート（BSR）編集長）

業界を牽引するキーマンたちが登壇し、立場の垣根を越えて業界の未来に向けた議論を交わします。